

令和6年度 岡山中央小学校 教育基本計画

市の条例「自立する子ども」と教育大綱「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども」を目指す。

【 学校教育目標 】 愛 学び 喜び

【 重点目標 】

- ① 一人一人を大切に、集団として認め合い共に創る学級・学年・学校
- ② 子供達が共に学び合い、学ぶことに喜びを感じる授業
- ③ 基本を大切に、新しい方法も導入する実践

【 具体的な取り組み 】

A 他者の尊重と帰属意識の育成

人権尊重の精神

社会性

- ・学級、学年、学校を個々が意識する集団づくり（他者意識、目標設計、目標決定、実行、振り返り等）
- ・ふわふわ言葉、ふれあい週間
- ・生活の3本柱（あいさつ、そうじ、廊下歩行）その日常的声掛けと称揚。強化月間 等

B 考えて行動できる資質の育成

活用力

向上心

表現力

社会性

- ・したいことを決め、準備し、計画して、実行し、振り返る、学級・学年・委員会活動等の自己決定と振り返りの場の実施

C 基本的な指導の徹底と、新しい学習の開拓

活用力

向上心

表現力

既存の学力向上方策等を継続し、徹底する。

人権尊重の精神

社会性

- ・中央小スタンダード
- ・家庭学習（マイスタ、マイスタコーナー、マイスタ通信、マイスタウイーク）
- ・ICT活用（まずは使ってみる。次に、やってみたくなる、かんがえやすい、工夫できる などを目指す。）
- ・生活習慣の改善（授業準備、メディアコントロール等）
- ・ESD／SDGs、キャリア教育
- ・栄養・養護教諭による健康教育（食育、衛生、性等）
- ・学校医等による授業実践
- ・特別支援教育の視点からの授業改善
- ・良い連携による校内特別支援教育の向上 等

これら A、B、C の基盤として、

D 地域協働

地域学校協働本部の開始

地域人材、地域団体による学校支援

・地域協働ルーム

主任児童委員など地域人材による離席児童等への声掛け、児童と支援者のための居場所

・発達障害スーパーバイザー

地域の学識経験者による教職員・保護者への助言等

・学校支援ボランティア

・学校医、薬剤師による授業実践

・こ小中連携の一層の具体化

・PTA、サポート隊、おやじの会、各種機関・団体の方々との連携 等

E 学ぶ私たち = 教職員も学び続ける

本校の課題に必要な研究研修、基本を身に付ける研究研修、ICT等新しい方法を導入する研究研修 等